

2 旅客輸送の動向

【 概 況 】

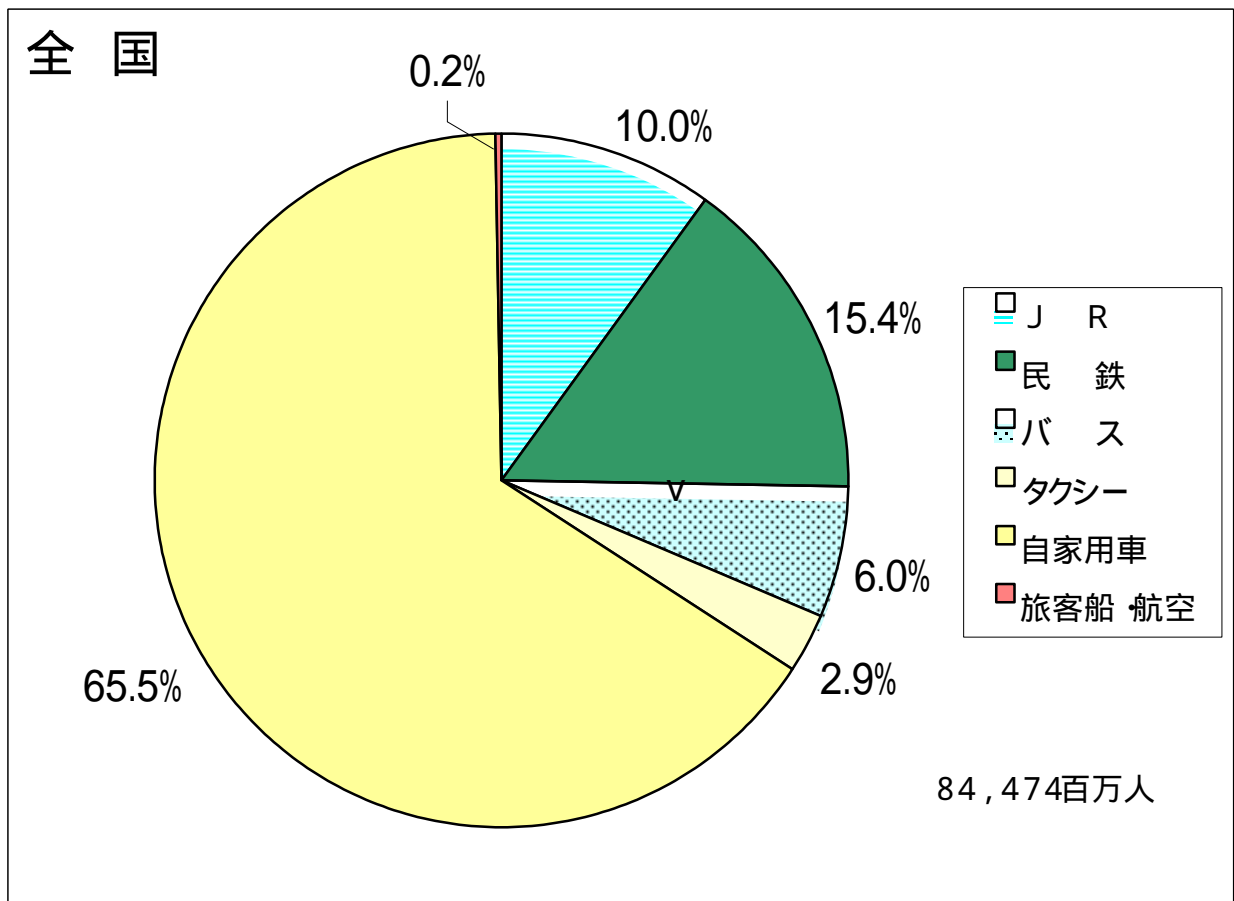
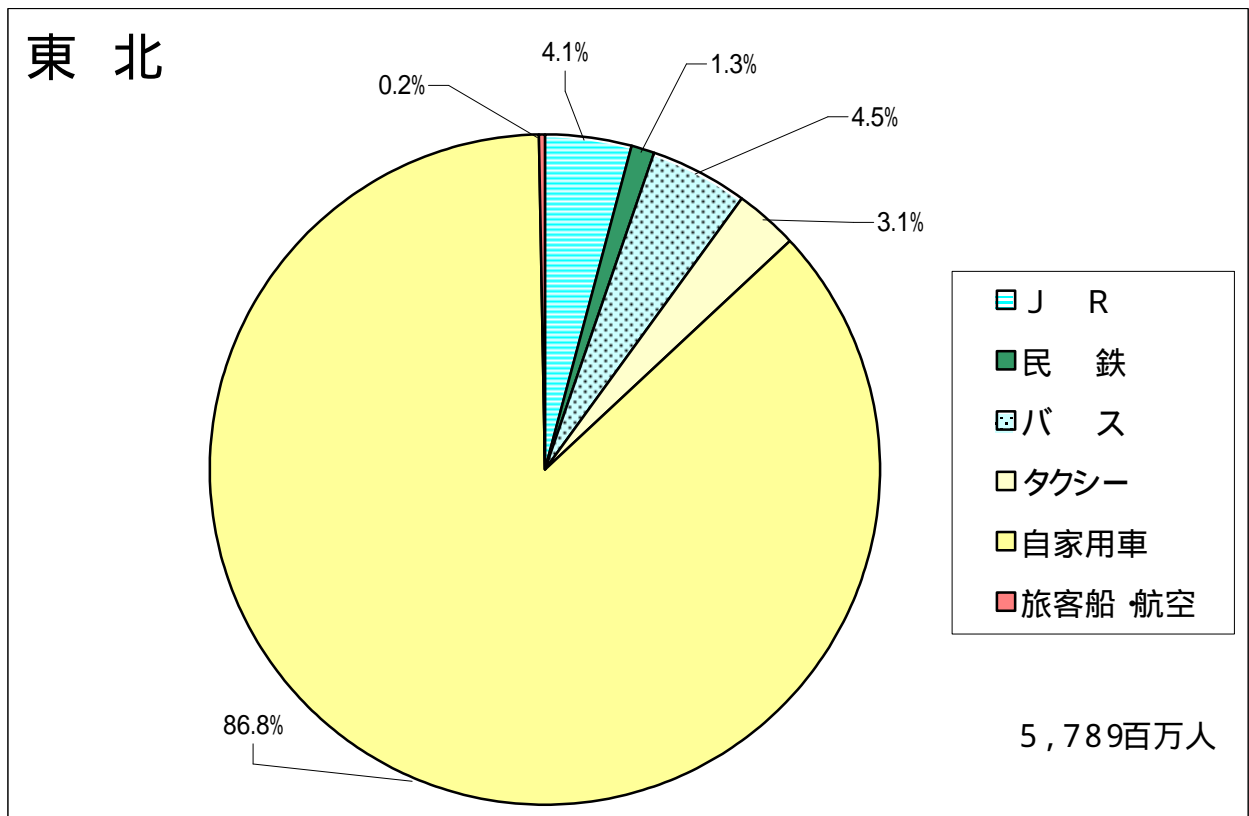
- ・ 旅客輸送機関別分担率は、自家用車が約 87%となっており、マイカーに大きく依存。伸び率もマイカーが著しく高い。
- ・ 「地域の足」である、乗合バスの輸送人員は、ピーク時の3割弱にまで大きく減少。その他、民鉄、タクシー、旅客船が減少。
- ・ 新幹線等の高速交通体系の整備が進み、都市間の時間的距離が大きく短縮。
これに伴い、新幹線、高速バス、航空による都市間輸送は増加傾向。
- ・ 14年12月の東北新幹線八戸延伸開業に際しては、八戸などからの二次交通の整備が進む。また、地域への入れ込み客も大きく増加。

【基礎データ】

- 2 - 1 - 1 旅客輸送機関別分担率
- 2 - 1 - 2 輸送機関別旅客輸送人員の推移
- 2 - 1 - 3 旅客流動
- 2 - 1 - 4 高速交通体系の整備による都市間旅行時間の短縮効果
- 2 - 2 - 1 鉄道旅客輸送人員の推移（全体、東北新幹線、地下鉄、民鉄）
- 2 - 2 - 2 東北地方の鉄道路線図
- 2 - 3 - 1 バス輸送人員の推移（乗合バス、高速バス）
- 2 - 3 - 2 乗合バス（不採算）路線廃止状況
- 2 - 3 - 3 高速バスの運行系統
- 2 - 3 - 4 高規格幹線道路網図
- 2 - 4 - 1 空港利用者数の推移
- 2 - 4 - 2 日本人出国者の利用空港内訳
- 2 - 4 - 3 航空路線網

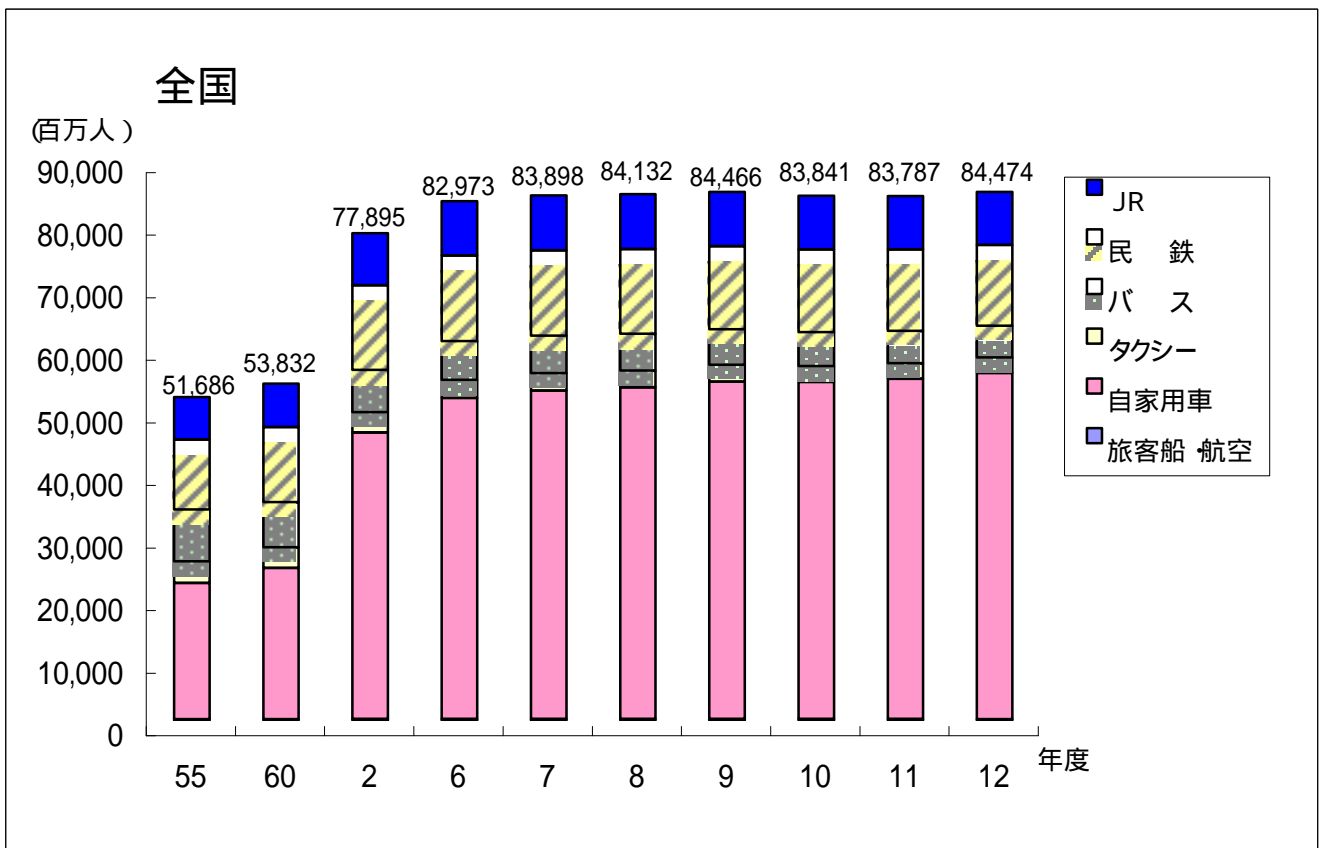
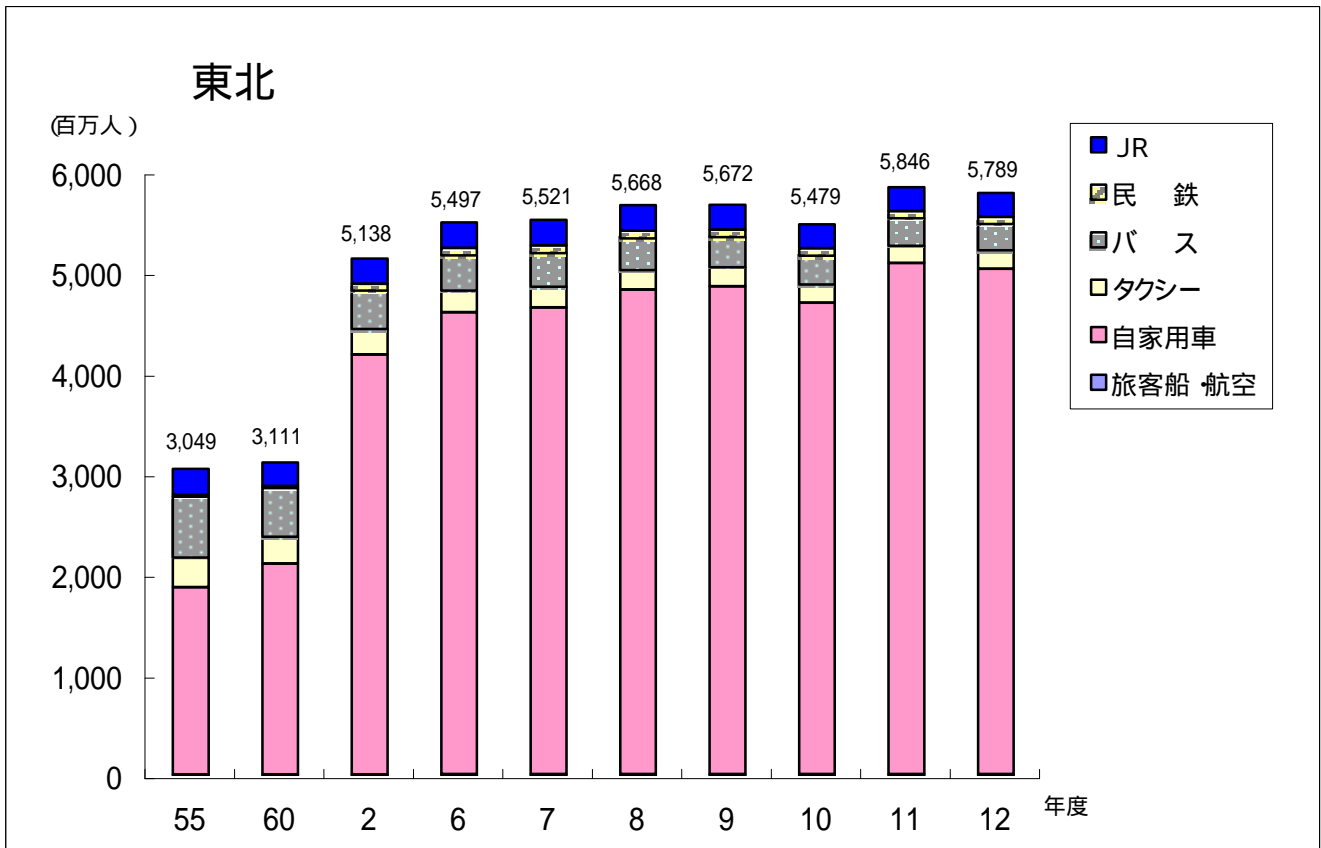
- 2 - 4 - 4 東北地方の各空港の国際線就航状況
- 2 - 4 - 5 空港アクセスの概況
- 2 - 5 - 1 旅客船輸送人員の推移
- 2 - 5 - 2 フェリー航路の現況
- 2 - 5 - 3 離島航路の現況
- 2 - 6 ハイヤー・タクシー輸送人員の推移

2-1-1 旅客輸送機関別分担率 (平成12年度)



資料 旅客地域流動調査

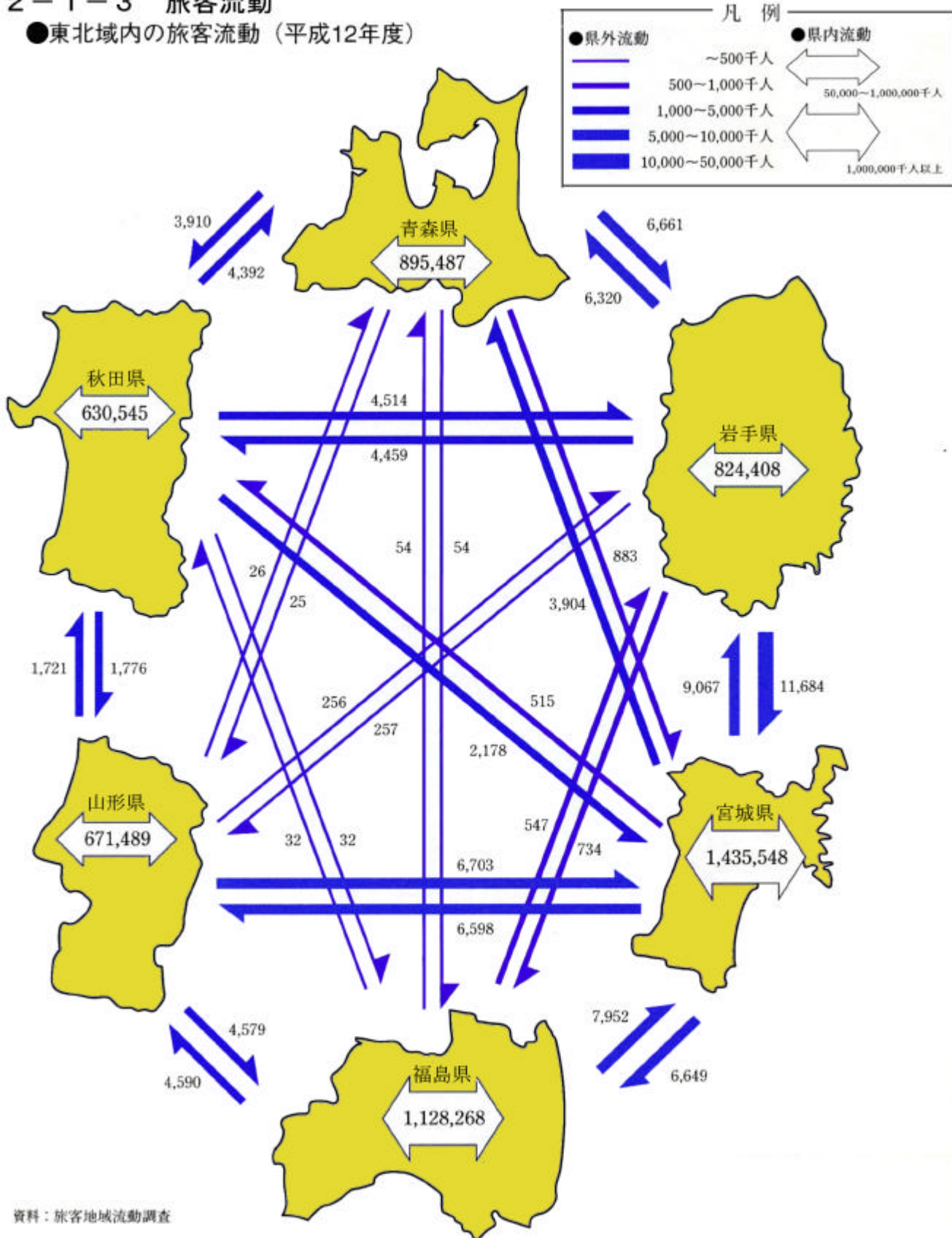
2-1-2 輸送機関別旅客輸送人員の推移



資料 旅客地域流動調査

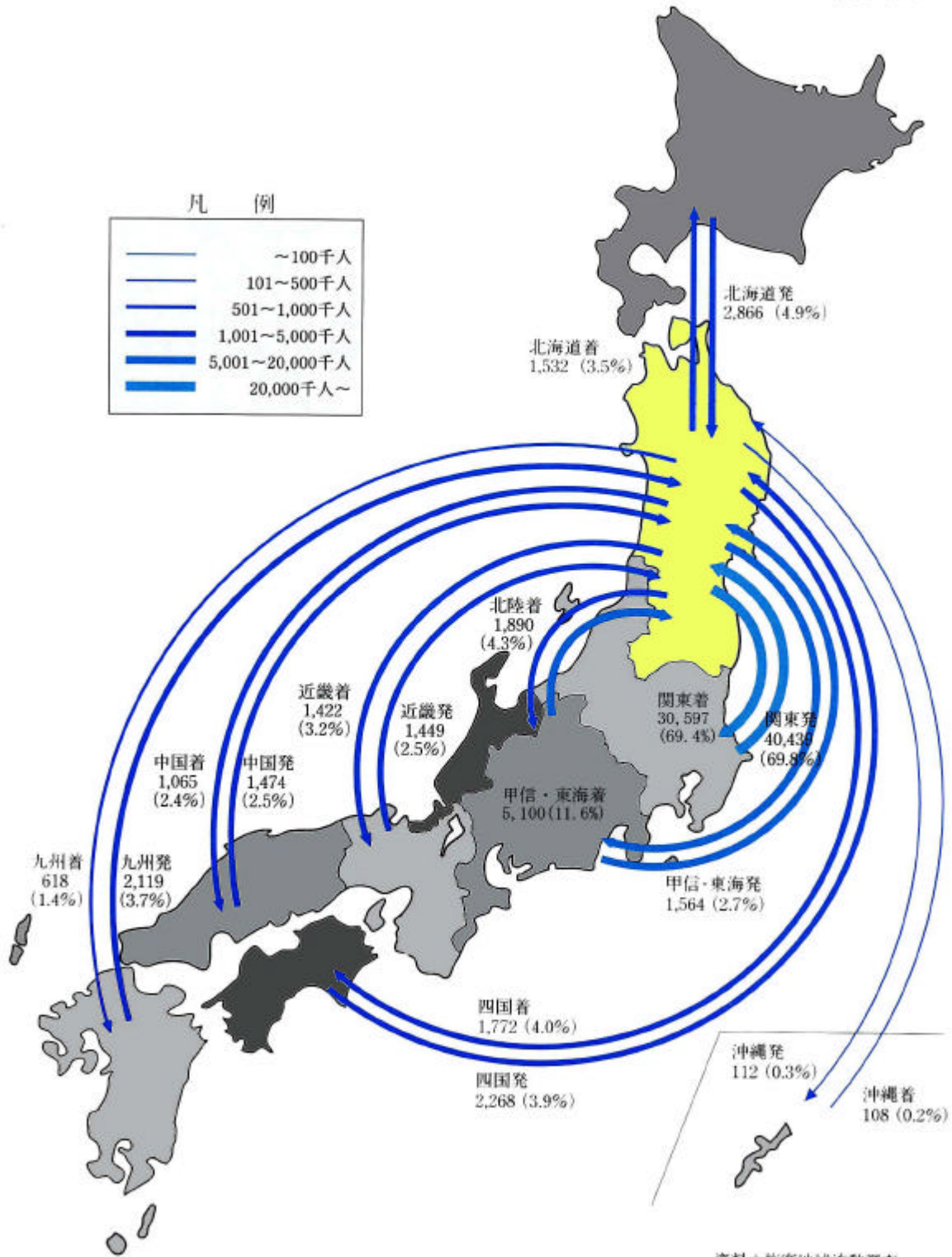
2-1-3 旅客流動

●東北域内の旅客流動（平成12年度）



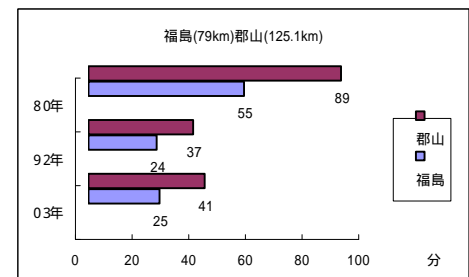
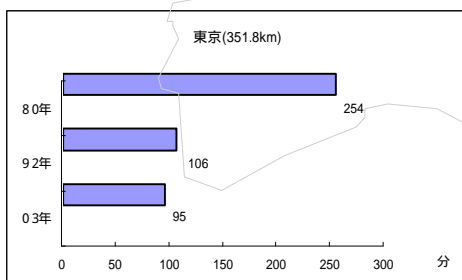
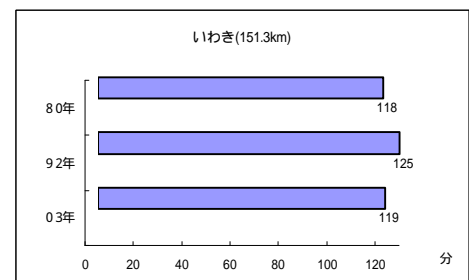
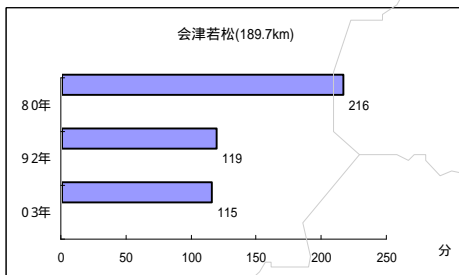
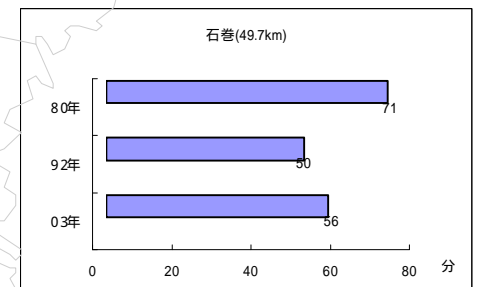
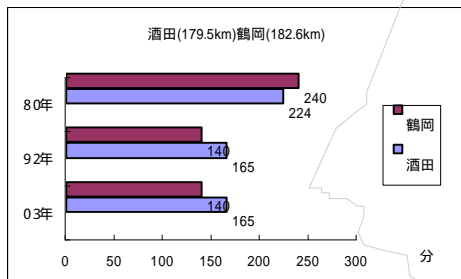
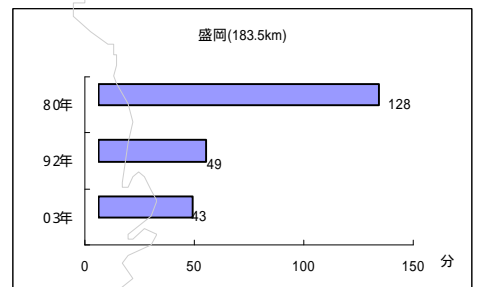
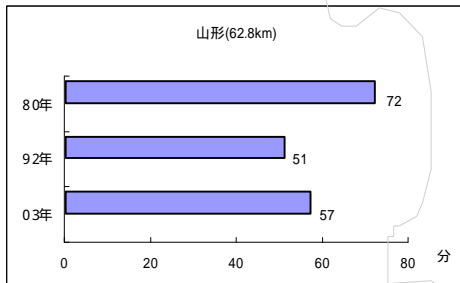
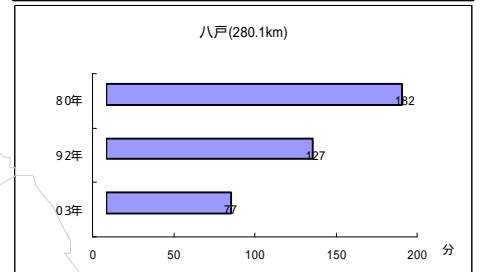
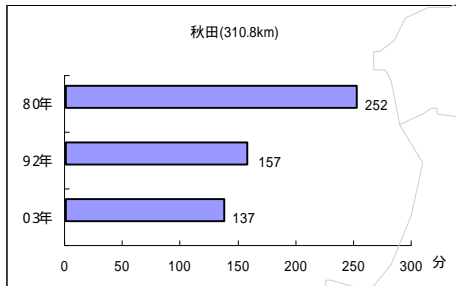
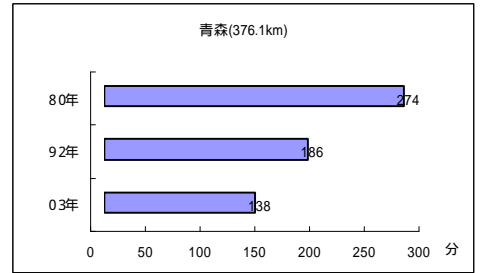
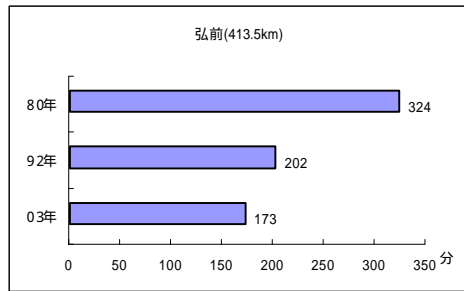
●東北と全国との旅客流動（平成12年度）

単位：千人



資料：旅客地域流動調査

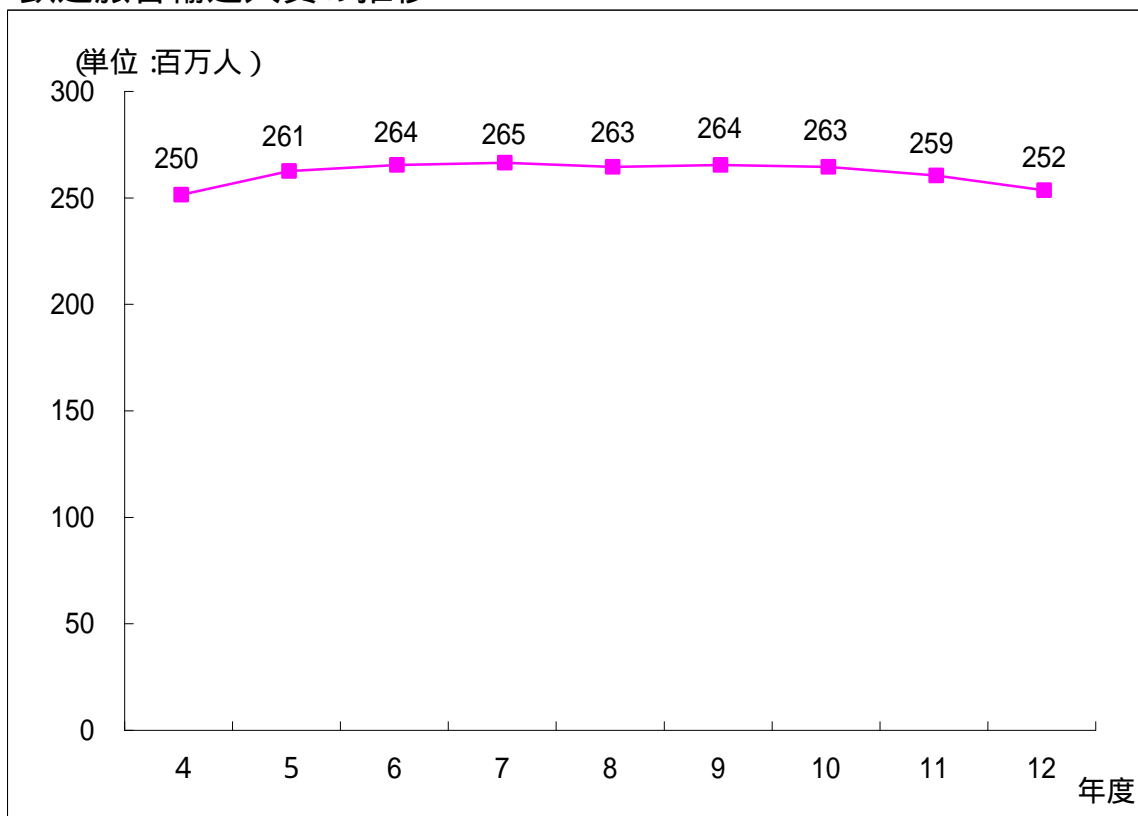
2-1-4 高速交通体系の整備による都市間旅行時間の短縮効果



いずれも仙台からの最速所要時間
資料:東北運輸局

2-2-1 鉄道旅客輸送人員の推移 (全体、東北新幹線、地下鉄、民鉄)

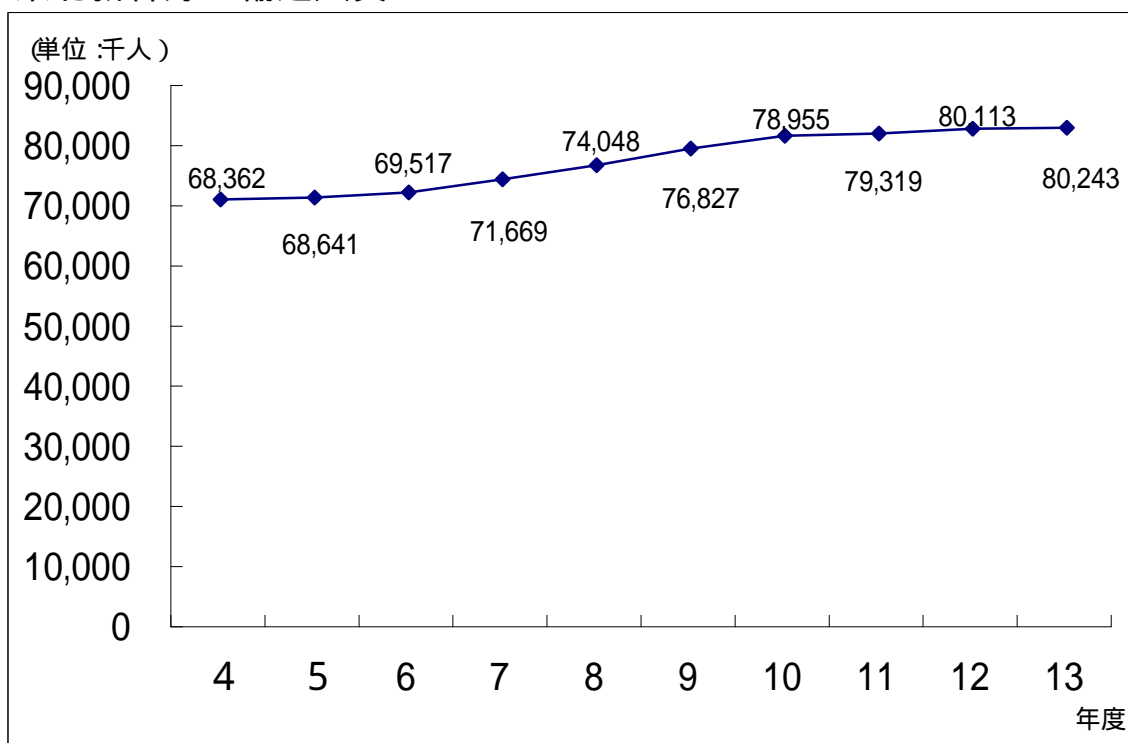
鉄道旅客輸送人員の推移



資料 鉄道輸送統計年報

(注) 数値は、JR、民鉄、仙台市地下鉄の合計

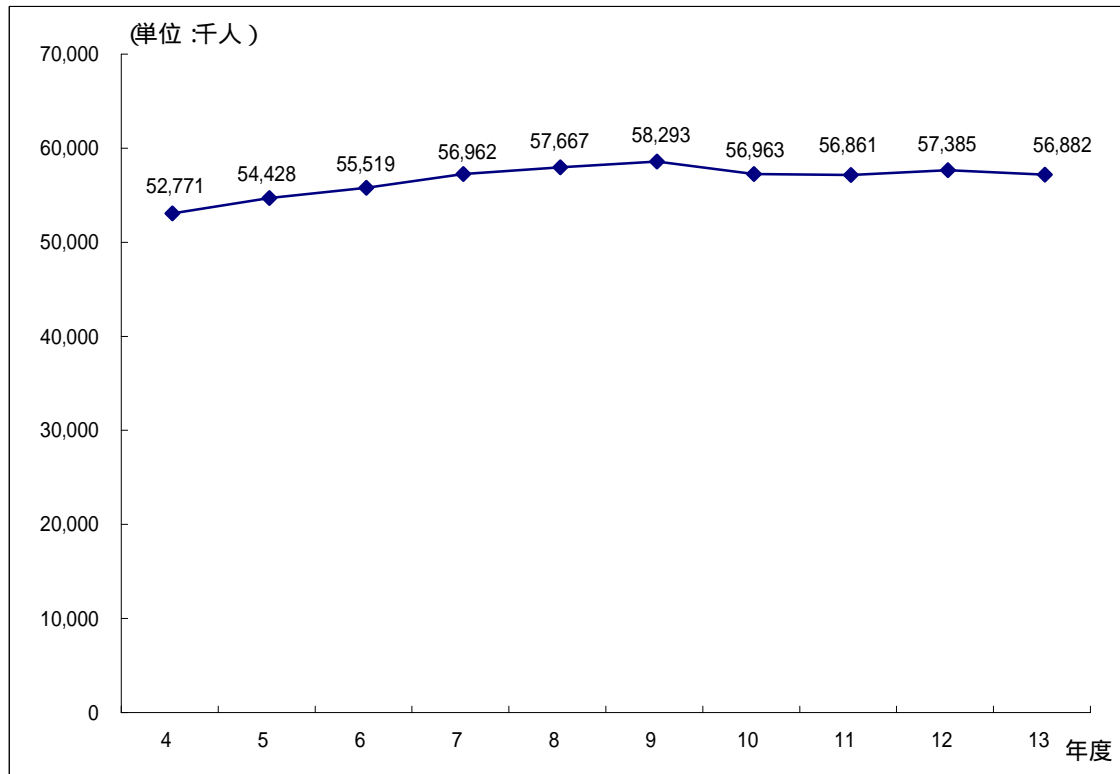
東北新幹線の輸送人員



資料 数字で見る鉄道

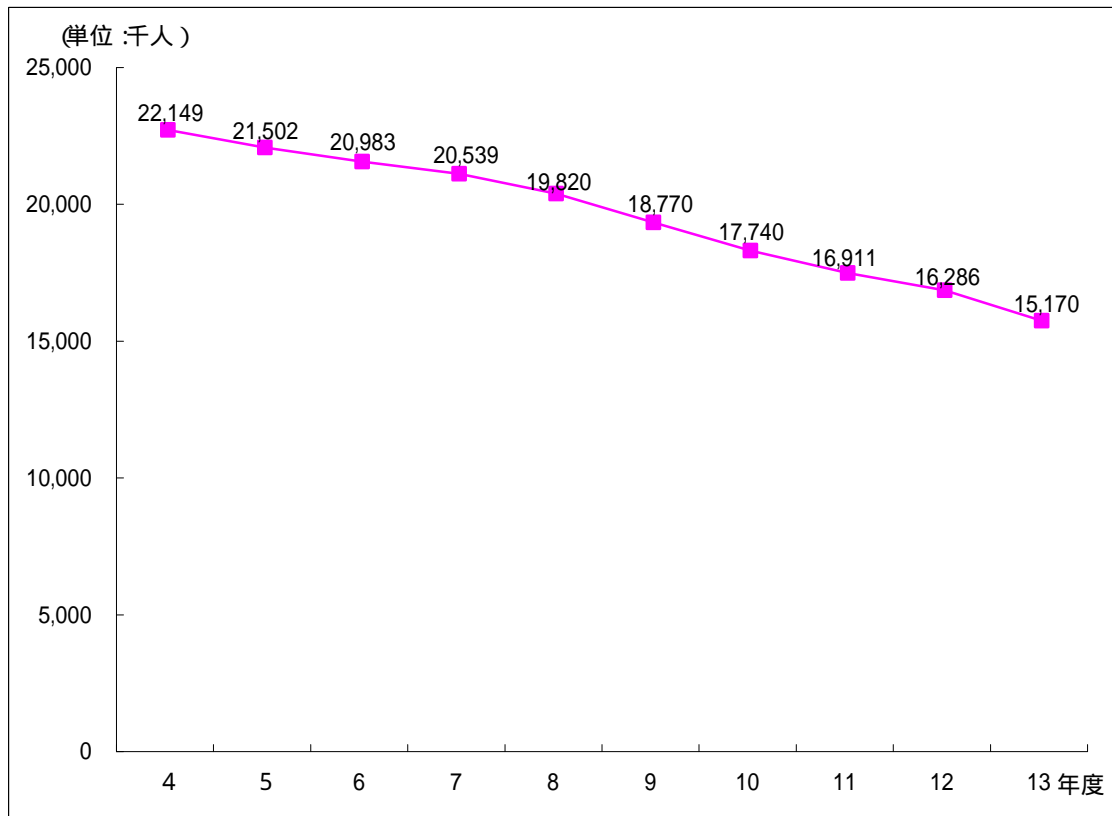
(注) 東北新幹線開業 大宮～盛岡間 S57.3、大宮～上野間 S60.3、上野～東京間 H3.3
山形新幹線開業 H.4.7 秋田新幹線開業 H.9.3

仙台市営地下鉄の輸送人員



資料:東北運輸局
(注)開業 S62.7

民鉄旅客輸送の推移



資料:東北運輸局 北陸信越運輸局

2-2-2 東北地方の鉄道路線図

